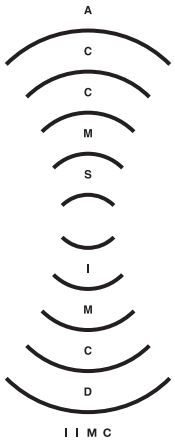


2019年度版

京都大学情報環境スタートガイド

2019年4月1日発行

京都大学へようこそ。
たくさんの期待と不安を抱いて京都大学という新しい学びの場に足を踏み入れていらっしゃると思います。京都大学では、勉学から学生生活まで様々な活動を支援する情報環境が用意されています。
本ガイドでは、京都大学における情報環境を使い始めるにあたって重要となる事項をまとめてあります。新しく加わったサービス、従来からの変更点もありますので内部進学の方も、ぜひご参照ください。

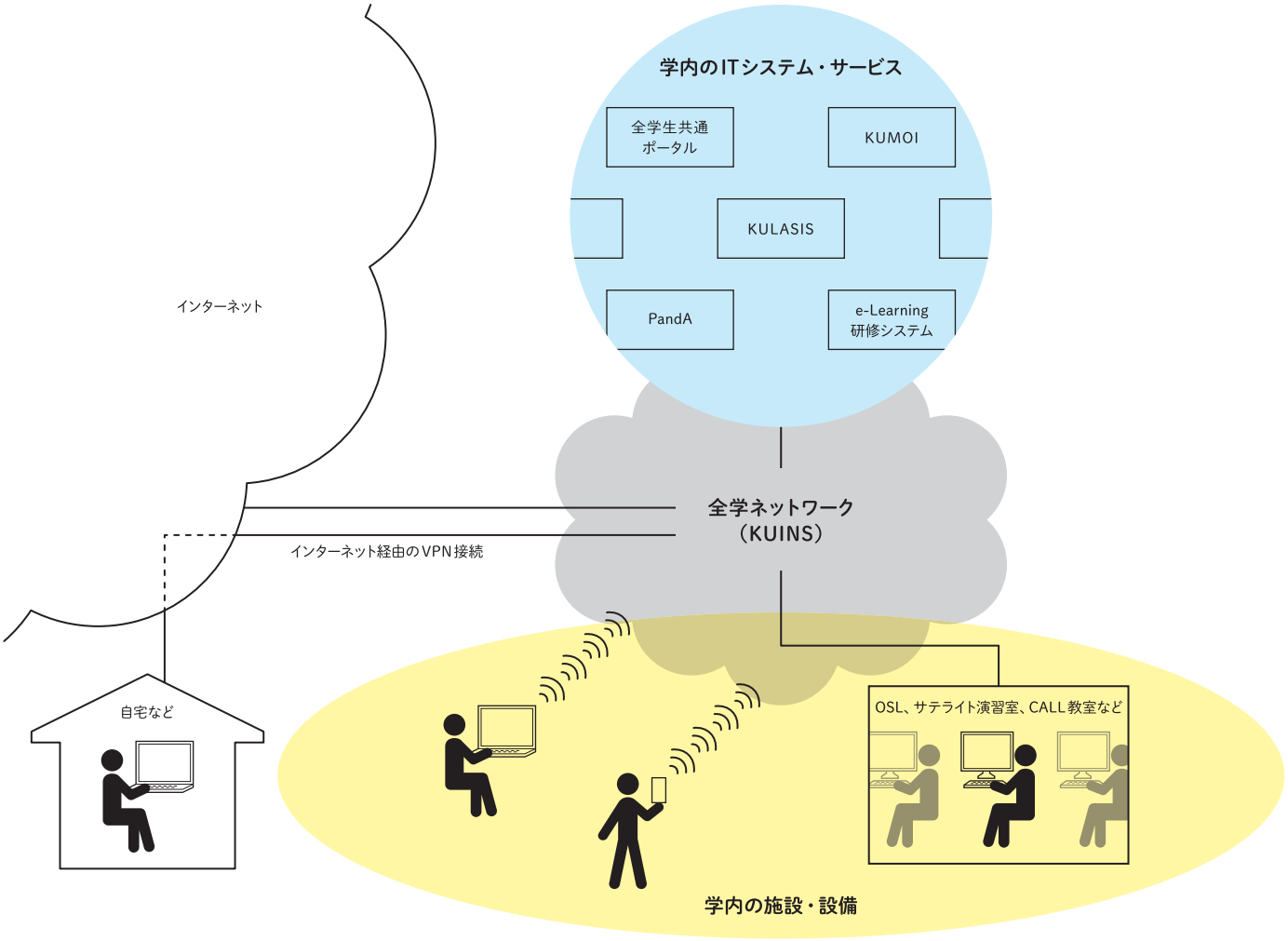
京都大学情報環境機構WEBサイト
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/

学生のための情報環境マニュアル（PDF版）
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ecs/support/tebiki.html

京都大学情報環境機構サービスガイドブック（PDF版）
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/IIMC_service-guide_2018.pdf

京都大学の情報環境

学内情報環境概念図



京大生の1日のスケジュール例

学部学生Aくんの場合

07:00	起床・朝食
08:00	スマホでメールと教務情報をチェック・登校（全学生共通ポータル／ECS-IDでログイン）
09:00	講義室で授業（1限目）
10:00	
11:00	講義室で授業（2限目）
12:00	LINEで友達に連絡・学食で一緒に昼食（KUINS-Airに接続）
13:00	CALL教室で授業（3限目）（ECS-IDでログイン）
14:00	
15:00	サテライト演習室で授業（4限目）（ECS-IDでログイン）
16:00	持ち込みPCでレポートの作成・附属図書館で文献を借りる（IC学生証で貸出し手続き）
17:00	
18:00	サークルの仲間と学食で夕食
19:00	
20:00	サークル活動
21:00	帰宅・授業の予習・レポート作成・レポート提出（PandA／ECS-IDでログイン）
22:00	余暇
23:00	入浴・就寝
24:00	

大学院生Bさんの場合

07:00	起床・朝食
08:00	スマホでメールと教務情報をチェック・登校（全学生共通ポータル／ECS-IDでログイン）
09:00	
10:00	研究室で調べもの（KUINSに接続）
11:00	講義室で授業（2限目）
12:00	学食で昼食・スマホでメールチェック（KUINS-Airに接続）
13:00	研究ゼミ（今日は、附属図書館のラーニング・コモンズで行われる）・持ち込みPCをインターネットに接続する（KUINS-Airに接続）
14:00	
15:00	
16:00	ゼミの後も附属図書館で過ごす・文献を借りる（IC学生証で貸出し手続き）
17:00	研究室で実験、データ収集・解析、論文執筆など（KUINSに接続／スーパーコンピュータシステム）
18:00	
19:00	研究室の仲間と学食で夕食
20:00	帰宅（VPN接続サービスでKUINSに接続）
21:00	電子ジャーナルで文献収集（京都大学図書館電子リソース／ECS-IDでログイン）
22:00	余暇
23:00	入浴・就寝
24:00	

本人認証のためのアカウント・ICカード

学生アカウント(以下、ECS-ID)は、IC学生証とともに京都大学が提供する本人認証のためのアカウントです。情報環境機構、図書館機構、各部局などが提供するITシステム・サービスは、このECS-IDで利用することができます。サービス利用時には、ECS-IDとパスワードを入力することにより、利用者が本人であることを確認します。
また、IC学生証は券面による身分証として使えるだけでなく、非接触ICカードとなっているため、各施設への出入りや、証明書自動発行機などにも利用できます。

学生アカウント **ECS-ID**
情報環境機構、図書館機構、各部局などが提供する
ITシステム・サービスの利用など

IC学生証
身分証機能、施設への入館、
証明書自動発行機利用など

(京大生協組合加入者であれば)
京大生協組合員証
京大生協電子マネー

学内のITシステム・サービスの利用

京都大学では、総合大学として幅広い学問分野において最先端の教育研究が日々行われており、それらを支えるITシステムやサービスとして様々なものが提供されています。

はじめてのあなたにとっては多様な動物や植物が繁殖するジャングルのような空間に思えるかもしれません。迷いながらでも結構ですので、目的に応じて一つ一つ使ってみましょう。

全学生共通ポータル
各種ITシステム・サービスへの共通窓口

京都大学学生用全学メール KUMOI
京大生一人ひとり専用の全学メール

e-Learning研修システム
国際高等教育院e-Learning教材
情報セキュリティe-Learning

学認連携Moodle講習サイト
情報セキュリティe-Learningの副教材

教務情報システム KULASIS
シラバス・履修・成績・休講情報などの教務情報

学習支援システム PandA
授業資料閲覧・レポート課題提出等、
授業に関する支援システム

国際言語実践教育システム GORILLA
京都大学での英語学習を支える
オンライン語学学習システム

京都大学デジタルアーカイブシステム Peek
京都大学の教育研究過程で収集・作成された資料類を閲覧できる検索システム

京都大学蔵書検索 KULINE
京都大学が所蔵する図書・雑誌、論文、貴重資料、博士論文などの検索

MyKULINE
図書の貸出更新・予約、文献の取寄せなどができる

京都大学図書館電子リソース
電子ジャーナル・電子ブック・
各種データベースの利用

そのほか、所属学部・研究科などのシステム

大学院生は、研究でスーパーコンピュータシステムを利用する場合があります。利用には、別途専用のアカウントが必要になります。

□・・・・・全学生が必ず使用するシステム

全学ネットワークの利用

京都大学には全学の殆どの拠点をカバーする全学ネットワークがあり、KUINS(クインズ)と呼ばれています。このネットワークは吉田、宇治、桂の各キャンパスはもちろん北は北海道標茶町から南は屋久島まで全国の小さな研究施設やサテライトオフィスなどを繋いでいます。KUINSは学内の通信や、学内からのインターネットへの通信に使われます。KUINSには、各部屋に設置された情報コンセント経由で有線でPCやサーバを繋ぐことができますし、全学に設置されたアクセスポイントを経由して無線(Wi-Fi)で接続することもできます。また、自宅や外出先などの学外からもVPNという仕組みを使って学内の各種サービスを利用することができます。

KUINS(京都大学学術情報ネットワークシステム)
情報端末(PCやスマートフォンなど)のネットワーク接続

有線(情報コンセント経由)

無線(無線LANアクセスポイント経由)
KUINS-Air、eduroamなど

VPN接続サービス
IKEv2接続、OpenVPN接続など

学内でのPC(パソコン)利用

オープンスペースラボラトリ(OSL)や、サテライト演習室、CALL 教室、図書館では、大学が用意したPCが利用できます(利用には、ECS-IDが必要です)。大学のWi-Fi(KUINS-Air)が整備されているオープンスペースでは、PCを持ち込んで自学自習することもできます。また生協では一般アカデミックライセンスや京都大学用の包括ライセンス、個人向けのソフトウェアなどを購入できます。持ち込みの場合も含め、PCに関する様々な問い合わせは情報環境支援センターで受け付けています。

オープンスペース ラボラトリ(OSL)
自学自習に利用できる
PC 室
PC・ソフトウェア
学術情報メディアセンター南館、附属図書館、吉田南総合図書館に設置

PCを持ち込んで自学自習できる場所
・学術情報メディアセンター南館 ラーニング・コモンズ
・附属図書館 ラーニング・コモンズ
・吉田南総合館北棟 Student Research Room
・人間・環境学研究科棟 環on
・吉田南1号館 休憩コーナー
・各生協食堂
ほか多数

サテライト演習室
授業などに利用する
端末室
PC・ソフトウェア
各学部に設置
(p. 05参照)

CALL教室
授業に利用する
コンピュータ支援型
言語学習用教室
CALL端末
学術情報メディアセンター南館など、吉田南構内に設置

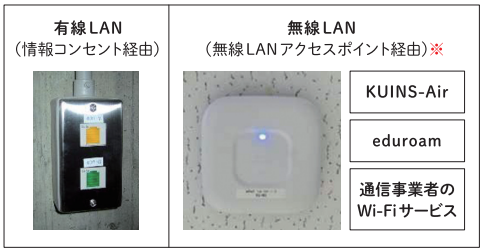
情報環境支援センター
総合問い合わせ窓口
・
ITヘルプデスク
学術情報メディアセンター南館
1階

京都大学のネットワークとセキュリティ

有線LANと無線LAN

学内の全ての建物のほぼ全ての部屋に「情報コンセント」と呼ばれる有線LANへの接続口が設けられていて、ネットワークケーブルを差し込むだけでKUINSに繋がるようになっています。情報コンセントには黄色と緑色の2種類があります。KUINS-IIとKUINS-III（後述）のネットワークへの接続に使われます。また、学内の建物は無線LANでもカバーされていて、現在約2,700台のアクセスポイント（AP）があります。さらに2014年度からの3カ年計画で、古いAPの置き換えと新しいAPの設置が進められ2016年度末には多くの建物が最新の802.11ac準拠のAPでカバーされました。各APからは、場所によって若干の違いはありますが、右の3種類のSSIDが放出されています。

- KUINS-Air（ECS-IDまたはSPS-IDで認証後、KUINS-IIIへ接続）
- eduroam（大学関係者に付与されるIDでインターネットに接続）
- 通信事業者のWi-Fiサービス（au、NTTdocomo、Softbankの契約があれば、Wi2_club、0000docomo、mobilepoint2に接続）



KUINS-Air

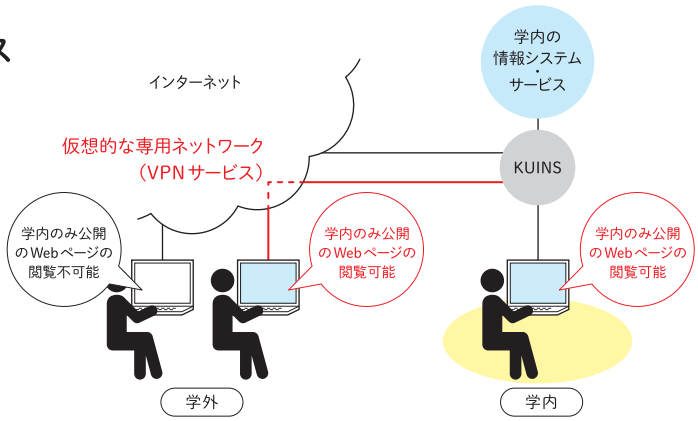
※このマークが目印です。図書館やホールなどで利用できます。

KUINS-IIとKUINS-III

KUINSのネットワークはセキュリティ確保の観点から2種類の論理的に異なるネットワークに分けられています。一つはKUINS-IIと呼ばれるネットワークで、接続された計算機（主にサーバ類）にはインターネットのグローバルアドレスが付与され、インターネットからの直接アクセスが必要なWebによる情報発信などに使われます。もう一つはKUINS-IIIと呼ばれるネットワークで、PCやプリンタ、モバイル端末などの機器をつなぐ場合に使われます。接続された計算機にはプライベートアドレスという学内だけで使えるアドレスが自動的に割り振られます。プライベートアドレスが割り振られた機器を用いてウェブ等のインターネット利用を行う場合は、ProxyやNATと呼ばれるサーバを経由して行います。ほとんどの研究室では、研究室の担当者がKUINS利用の手続きをすでにしています。研究室等であなたのPCやモバイル端末などをインターネットに繋ぐ場合は、管理者の指示に従ってください。

学外から大学のネットワークに入る時のVPNサービス

VPN（Virtual Private Network）という仕組みを使うことで、自宅や学会・出張先などの学外から学内のネットワークに接続して、学内のみ公開しているサービスを利用することができます。
本学で提供しているVPNサービスはいくつかありますが、主なものは「IKEv2接続」「OpenVPN接続」です。WindowsPCやMac、iPhone、Android端末でご利用いただけます。
VPNサービスの利用方法については、次のページを参照してください。
http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/kuins/vpn/



ネットワークの情報セキュリティの監視

京都大学全体のネットワークであるKUINSには、その出入り口に不正アクセス検知装置と呼ばれるセキュリティ監視装置が設置されていて、全ての通信を24時間365日監視しています。怪しい通信を発見すると、学内の通信先に安全確認を行うということで、日々インターネットから到来する様々な攻撃に対処しています。

大学全体の情報セキュリティは、ひとりひとりが守る

上記の監視をしていれば、安全安心なのかというとそうではありません。インターネットはとても便利な道具ですが、セキュリティについては利用者であるあなたが注意していないと、思わぬ事故（情報セキュリティインシデント）に巻き込まれる可能性があります。また、一人の不注意から大学全体が危機的状況に容易に陥ってしまう危険性も高いというのがインターネットの情報セキュリティインシデントの特徴です。従って、大学の情報セキュリティを守るためには、一人一人の心構えが何よりも大切です。特に、メールの添付ファイル、Webでアクセスするサイトにはマルウェアが隠されている可能性ずあります。それに引っ掛からないように特にメールとWebは用心深く使ってください。また、ウィルス対策ソフトやOS、アプリケーションのアップデートは欠かさず行ってください。

ただちに、情報セキュリティe-Learningを受講してください！

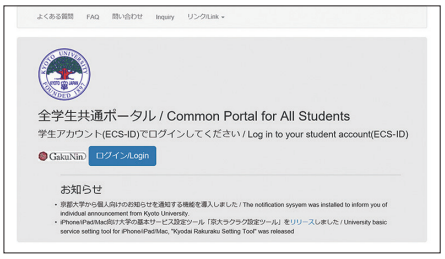
京都大学では、全学情報セキュリティ委員会の下、情報や情報技術の安全で効果的な利用のために『e-Learning方式での情報セキュリティに関する基本的なプログラムを習得』することがすべての構成員に義務づけられています。受講未了の場合、ECS-IDを使ったサービスを利用できなくなる場合がありますので、必ず受講してください（入学前にすでに受講した人はOKです）。

全学メールとポータル

毎日、メールをチェックしてください！

京都大学では、個人あての重要なお知らせや、緊急を要する連絡を全学メールアドレスに送信しますので、1日1回必ずメールの確認をしてください。
全学生共通ポータルにログインすると、全学メールにアクセスできます。全学生共通ポータルからは、全学メールの他にも様々なシステムにアクセスでき、パスワードを再度入力しなくてもアクセスできるシングル・サイン・オンも利用できます（だから、パスワード管理はとても大切です！）。
今後、全学生共通ポータルは強化される予定ですので、京大ジャングルに迷う前にまずは全学生共通ポータルにアクセスする習慣を付けましょう。

全学生共通ポータル
https://student.iimc.kyoto-u.ac.jp/



KUMOI

KUMOI

あなたのKUMOIのメールアドレスは、下記URLのページで確認できます。
京都大学アカウント管理　https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp

学生用全学メールKUMOIの受信箱（メールスプール）容量は50GBです。
容量を越えるとメールを受信できなくなりますので、不要なメールは適宜削除してください。
全学生共通ポータルにログインする以外に、以下の方法でも全学メールにアクセスできます。

〈メールソフトで利用する方法〉

PCのメールソフトで学生用全学メールの送受信をする場合は、現在使っているメールソフトで、以下のような受信・送信の設定を行ってください。

受信設定	サーバ名：outlook.office365.com ユーザ名：ECS-ID@st.kyoto-u.ac.jp パスワード：ECS-ID のパスワード IMAP4利用可（SSL必須：993番ポート） POP3利用可（SSL必須：995番ポート）
送信設定	サーバ名：smtp.office365.com 認証アカウント：ECS-ID@st.kyoto-u.ac.jp パスワード：ECS-ID のパスワード SMTP AUTH利用可（STARTTLS必須：587番ポート）

ECS-IDが「a00XXXY」の場合、「a00XXXY@st.kyoto-u.ac.jp」となります。

〈メールの転送先の変更方法〉

下記URLの「パスワードの変更・学生用メール（KUMOI）の転送設定変更」ページで転送先を確認出来ます。設定しているメールアドレスを利用しなくなった場合は、必ず別の有効なアドレスに変更して下さい。
京都大学アカウント管理　https://ecs.iimc.kyoto-u.ac.jp

Appleユーザに朗報！

京大ラクラク設定ツール for iOS / Mac OSX
京都大学情報環境機構では、Wi-Fi(KUINS-Air)、VPN(IKEv2)、全学メール(KUMOI)の設定を一括で行うiOS / Mac OSX構成プロファイルを作成するツール「京大ラクラク設定ツール」を公開しています。Apple社のiOSやMac OS Xを搭載しているスマートフォン、タブレット、MacBook等で「京大ラクラク設定ツール」を使うと、全学メールを読むための設定やKUINS-Air設定、IKEv2接続設定が自動的にできて便利です！

京大ラクラク設定ツール
https://www.rd.iimc.kyoto-u.ac.jp/apps/kyodairaku2/index-ecs.html

オープンスペースラボラトリ(OSL)、サテライト演習室等の設置場所 (2019年4月現在)

※最新情報は情報環境機構WEBサイトにてご確認ください。

❶-❸OSL設置場所

吉田キャンパス
❶附属図書館 3階
❷吉田南総合図書館 2階
❸学術情報メディアセンター南館 1階

❹-⓮サテライト演習室設置場所

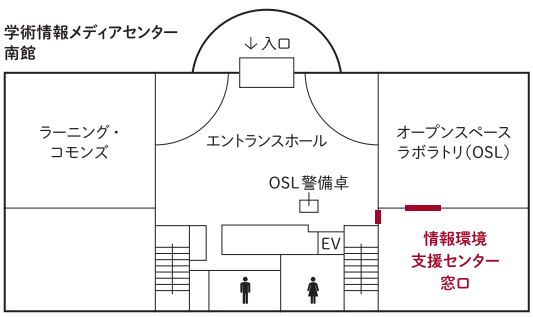
各部局に設置のサテライト演習室のご利用は原則として当該部局に所属の方に限ります。
詳細は各部局へお問い合わせください。

❹	総合人間学部／人間・環境学研究科	総合人間学部棟 2階1206 3階1305LL教室
❺	国際高等教育院	吉田南総合館 北棟 共北21、23、24 東棟 共東22
⓮	〃	学術情報メディアセンター南館 3階301CALL教室、302CALL教室
❻	文学部／文学研究科	文学部校舎 3階L312
❼	教育学部／教育研究科	教育学部本館 2階226教室 4階420教室
❽	経済学部／経済学研究科	法経済学部東館 地階情報演習室1
❾	理学部／理学研究科	理学研究科6号館 2階210
❿	医学部／医学研究科	医学部総合解剖センター 2階実習室
⓫	〃	医学部人間健康科学科西棟 1階端末室
⓬	工学部／工学研究科	工学部物理系校舎 1階124情報処理演習室1 2階230情報処理演習室2
⓭	農学部／農学研究科	農学部総合館 2階W222、W228
⓮	情報環境機構	学術情報メディアセンター南館 2階演習室203、204、3階演習室303

⓯総合問い合わせ窓口

窓口対応時間 平日8:30 ー 17:15

⓯学術情報メディアセンター南館 1階 情報環境支援センター
TEL 075-753-7840
FAX 075-753-9001
E-MAIL support@iimc.kyoto-u.ac.jp



コンピュータソフトウェアの適正な使用について

パソコンやモバイル端末等の情報機器で使用するコンピュータソフトウェア（以下「ソフトウェア」という。）は、学習や研究または業務の遂行に欠かせないものですが、これらのソフトウェアを不正に使用すれば、著作権法違反として、使用者本人や大学が法的責任を問われる可能性があります。

以下の事項に留意して、ソフトウェアは適正に使用してください。

- ✓ ソフトウェアは、正規品を正しい流通経路（正規販売代理店、メーカー直販等）で入手し、WEB等より海賊版ソフトウェアを入手しない。
- ✓ クラックツール（ソフトウェアの仕組みを不正に改変するツール）を入手しない。
- ✓ ソフトウェアは、「使用許諾契約書」に則って適正に使用し、不正コピーや不正な改変は行わない。

近年、著作権法の取締りが厳格化されています。
不正に使用した結果、高額な賠償金や刑事罰などの厳しい罰則を課せられる可能性があります。

ソフトウェアの不正使用は絶対にやめてください！

まず確認してください

― 情報セキュリティを確保するために ―

情報資産の利用目的	●本学の学術情報ネットワークシステム（KUINS）や全学アカウント（ECS-ID/SPS-ID）の利用目的は、教育、研究活動、業務と定められています。
基本的なセキュリティ対策の確実な実施	●アカウント、パスワードは適切に管理を行う。 ●OS、ソフトウェアのセキュリティ修正プログラムを確実にインストールする。 ●セキュリティ対策ソフトを導入し最新状態で確実に動作させる。 ●メールの添付ファイル開封、URLクリックは慎重に行う。 ●メール送信時は送信アドレスを再確認する。 ●教育、研究、業務に関係のないサイトにアクセスをしない。
情報発信等の前には必ずチェック	●差別、名誉毀損、侮辱、ハラスメントにあたる情報ではありませんか? ●プライバシーを侵害する情報ではないですか? ●守秘義務に違反する情報ではないですか? ●著作権等の財産権を侵害する情報ではないですか? ●その他法令に基づく処罰の対象となり、又は損害賠償等の民事責任を発生させる可能性はないですか?
P2Pファイル交換ソフトは利用禁止	●P2Pファイル交換ソフトは、インターネットを通じてファイルを不特定多数で共有することを目的としたソフトウェアで、ファイル共有ソフトとも呼ばれています。著作権を侵害する行為に使われることが多い等の理由で、原則利用を禁止しています。 ●P2Pファイル交換ソフトの例：Winny（ウィニー） Share（シェアー） Xunlei（迅雷） Bit Torrent（ビットトレント） Edonkey（イードンキ） 他
情報セキュリティe-Learningの受講	●全ての構成員の方に受講が義務づけられていますので毎年度受講してください。 http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/